

第3学年 体育科学習指導案

指導者 井上 凌

- 1 日時 令和5年9月21日(木) 5校時(13:55~14:40)
- 2 場所 体育館
- 3 単元名 集え!スペシャリスト!(体づくり運動領域 多様な動きをつくる運動)
- 4 授業づくりに関する考え方

(1) 子どもの実態と教材の特性

子どもの実態	<p>本学級の子ども〔男子8名、女子14名の計22名(特別支援学級3名を含む)〕は、「みんなちがってみんなさいこう」を学級目標に掲げ、互いのよさを認め合う温かな学級づくりに努めている。また、体を動かすことを好む子どもが多く、外遊びを積極的に行い、体育科の授業においても意欲的に学習活動に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テストや他領域の学習の様子から、運動能力に差はあるものの、授業で学んだポイントが素直に実践し、技能を伸ばそうとする姿が多く見られている。(知識及び運動) ○ 対話的な学習を重ね、友達のよい動きを見付けたり、伝えたりする活動に取り組んできた。一方で、運動において、ルールや場の設定を考えたり、自己やチームの課題解決のために工夫したりすることが不十分で、経験を積み重ねる必要があると感じている。(思考力、判断力、表現力等) ○ どの運動に対しても大変意欲的に取り組んでいる。一方で、活動に夢中になり、仲間の意見を聞き入れず、自分勝手に行動してしまう場面も見られる。(学びに向かう力、人間性等) 	教材の特性	<p>多様な動きをつくる運動の領域では、他の領域において扱われにくい体の様々な動きを取り上げ、その行い方を知るとともに、運動の楽しさを味わいながら多様な動きを身に付けたり、動きの質を高めたりすることをねらいとしている。</p> <p>本単元では、誰もが前向きに活動できるような易しい運動を通して、多様な動きを身に付けたり、動きの質を高めたりすることに加え、自己や仲間の課題克服に向けて、活動を工夫したりすることに取り組む。運動の内容を選んだり、ルールや準備物を工夫したりする過程を通して、仲間との豊かなつながりのなかで、課題解決する経験を積むことができるだろう。また、対話的な学びを活性化するために、よりよい動きを模索する時間や、仲間と交流する機会を保障していく。さらに、教師の指導性を発揮するタイミングを吟味し、自己やチームとしての課題を、自ら見付け、改善し、仲間と頑張りを認め合うことができる活動となるようにする。本教材は、運動能力の差に関わらず、多様な運動を仲間と楽しみ、できる喜びや協力する楽しさを味わうことに適している。</p>
--------	---	-------	---

(3) 単元計画

<p>ア 研究の視点及び手立て</p> <table border="1"> <tr> <th>「教材とつながる」</th> <th>「仲間とつながる」</th> <th>「自分とつながる」</th> </tr> <tr> <td>① 誰もが前向きに運動に親しむことができるように、易しい運動にしたり、運動のポイントを明確にしたりして、「分かる」「できる」喜びや運動のもつ本質的な面白さを味わえるようにする。</td> <td>② 進んで仲間と関わり、仲間と共に課題を解決していこうとする活動となるように、仲間とつながる場の設定や学習活動を工夫する。</td> <td>③ 自信をもって多様な運動に挑戦していこうとする態度が身に付くように、学びの成果や課題を振り返る場を整えたり、仲間と協力して活動やルールを工夫したりする面白さを味わわせたりする。</td> </tr> </table>			「教材とつながる」	「仲間とつながる」	「自分とつながる」	① 誰もが前向きに運動に親しむことができるように、易しい運動にしたり、運動のポイントを明確にしたりして、「分かる」「できる」喜びや運動のもつ本質的な面白さを味わえるようにする。	② 進んで仲間と関わり、仲間と共に課題を解決していこうとする活動となるように、仲間とつながる場の設定や学習活動を工夫する。	③ 自信をもって多様な運動に挑戦していこうとする態度が身に付くように、学びの成果や課題を振り返る場を整えたり、仲間と協力して活動やルールを工夫したりする面白さを味わわせたりする。	<p>イ 評価規準</p> <table border="1"> <tr> <th>知識・運動</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> <tr> <td>ア 運動の行い方について理解を深めようとしている。 イ 体のバランスをとったり、移動したり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせたりすることができる。</td> <td>ア 自己の課題を見付け、その解決のために活動を工夫している。 イ 場や使用する用具を変えながら、運動の行い方を工夫している。 ウ 友達のよい動きを見付けたり、伝え合ったりしている。</td> <td>ア 進んで運動に取り組もうとしている。 イ きまりを守り、誰とでも仲良く、励まし合って運動に取り組もうとしている。 ウ 互いの考えや気持ちを尊重しようとしている。 エ 場や用具を整え、安全に気を配っている。</td> </tr> </table>			知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	ア 運動の行い方について理解を深めようとしている。 イ 体のバランスをとったり、移動したり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせたりすることができる。	ア 自己の課題を見付け、その解決のために活動を工夫している。 イ 場や使用する用具を変えながら、運動の行い方を工夫している。 ウ 友達のよい動きを見付けたり、伝え合ったりしている。	ア 進んで運動に取り組もうとしている。 イ きまりを守り、誰とでも仲良く、励まし合って運動に取り組もうとしている。 ウ 互いの考えや気持ちを尊重しようとしている。 エ 場や用具を整え、安全に気を配っている。								
「教材とつながる」	「仲間とつながる」	「自分とつながる」																							
① 誰もが前向きに運動に親しむことができるように、易しい運動にしたり、運動のポイントを明確にしたりして、「分かる」「できる」喜びや運動のもつ本質的な面白さを味わえるようにする。	② 進んで仲間と関わり、仲間と共に課題を解決していこうとする活動となるように、仲間とつながる場の設定や学習活動を工夫する。	③ 自信をもって多様な運動に挑戦していこうとする態度が身に付くように、学びの成果や課題を振り返る場を整えたり、仲間と協力して活動やルールを工夫したりする面白さを味わわせたりする。																							
知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																							
ア 運動の行い方について理解を深めようとしている。 イ 体のバランスをとったり、移動したり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせたりすることができる。	ア 自己の課題を見付け、その解決のために活動を工夫している。 イ 場や使用する用具を変えながら、運動の行い方を工夫している。 ウ 友達のよい動きを見付けたり、伝え合ったりしている。	ア 進んで運動に取り組もうとしている。 イ きまりを守り、誰とでも仲良く、励まし合って運動に取り組もうとしている。 ウ 互いの考えや気持ちを尊重しようとしている。 エ 場や用具を整え、安全に気を配っている。																							
<p>ウ 単元における指導と評価の計画</p> <table border="1"> <tr> <th>時</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6(本時)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">学習の流れ</td> <td>試しの運動をしよう ○ きまりを確認し、いくつかの易しい運動を通して、運動の楽しさを味わう。【視点①】</td> <td>動きを選んで、記録会をしよう ○ 多様な動きを身に付けるための運動に取り組み、自分のできそうな運動を選ぶ。【視点③】</td> <td>反省を生かして練習しよう ○ 仲間と一緒に楽しく運動に取り組むとともに、よりよい動き方について考える。【視点②】</td> <td>準備と片付けの仕方を知ろう ○ 安全に気を付けた場の設定を話し合い、準備や片付けの仕方を考える。【視点②】</td> <td>速くなるポイントを考えよう ○ 自分の課題と向き合い、助言を受けながら、よりよい動き方について考える。【視点③】</td> <td>新記録に挑戦しよう ○ 仲間と協力して運動に取り組み、よいところや成長したところを伝え合う。【視点②】</td> </tr> <tr> <td>主な評価</td> <td>知 ア(様態)</td> <td>イ(様態)</td> <td>イ(様態、記録カード)</td> <td>エ(様態)</td> <td>ウ(様態)</td> </tr> </table>						時	1	2	3	4	5	6(本時)	学習の流れ	試しの運動をしよう ○ きまりを確認し、いくつかの易しい運動を通して、運動の楽しさを味わう。【視点①】	動きを選んで、記録会をしよう ○ 多様な動きを身に付けるための運動に取り組み、自分のできそうな運動を選ぶ。【視点③】	反省を生かして練習しよう ○ 仲間と一緒に楽しく運動に取り組むとともに、よりよい動き方について考える。【視点②】	準備と片付けの仕方を知ろう ○ 安全に気を付けた場の設定を話し合い、準備や片付けの仕方を考える。【視点②】	速くなるポイントを考えよう ○ 自分の課題と向き合い、助言を受けながら、よりよい動き方について考える。【視点③】	新記録に挑戦しよう ○ 仲間と協力して運動に取り組み、よいところや成長したところを伝え合う。【視点②】	主な評価	知 ア(様態)	イ(様態)	イ(様態、記録カード)	エ(様態)	ウ(様態)
時	1	2	3	4	5	6(本時)																			
学習の流れ	試しの運動をしよう ○ きまりを確認し、いくつかの易しい運動を通して、運動の楽しさを味わう。【視点①】	動きを選んで、記録会をしよう ○ 多様な動きを身に付けるための運動に取り組み、自分のできそうな運動を選ぶ。【視点③】	反省を生かして練習しよう ○ 仲間と一緒に楽しく運動に取り組むとともに、よりよい動き方について考える。【視点②】	準備と片付けの仕方を知ろう ○ 安全に気を付けた場の設定を話し合い、準備や片付けの仕方を考える。【視点②】	速くなるポイントを考えよう ○ 自分の課題と向き合い、助言を受けながら、よりよい動き方について考える。【視点③】	新記録に挑戦しよう ○ 仲間と協力して運動に取り組み、よいところや成長したところを伝え合う。【視点②】																			
	主な評価	知 ア(様態)	イ(様態)	イ(様態、記録カード)	エ(様態)	ウ(様態)																			

(2) 単元構想

ア 単元目標

- 多様な運動の楽しさに触れ、基本的な動きを身に付けるとともに、それらを組み合わせる運動をすることができるようにする。(知識及び運動)
- 自己の課題を見付け、その解決のために活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 多様な動きをつくる運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

イ 本単元で身に付けさせたい力の系統表

学年	低学年	中学年	高学年
観点	[多様な動きをつくる運動遊び]	[多様な動きをつくる運動]	[体の動きを高める運動]
知識及び運動	○ 運動遊びの行い方を知り、体のバランスをとったり移動したりするとともに、用具を操作したり力試しをしたりすることができる。	○ 運動の行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりすることができる。また、それらを組み合わせる運動をすることができる。	○ 体力の必要性や動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。
思考力 判断力 表現力	○ できそうな運動遊びや友達と行うと楽しい運動遊びを選んだり、場や使用する用具を変えながら、運動遊びの行い方を工夫したりすることができる。 ○ 友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えたりすることができる。	○ 自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりすることができる。 ○ 心と体の変化に気付いたことや、友達と関わり合ったり、多様な動きを身に付けたりするために考えたことや見付けたことを伝えることができる。	○ 自己の心と体の状態や体力、課題に応じて運動の行い方を選んだり、体の動きを高めるための運動の行い方になるように工夫したりすることができる。 ○ 体をほぐしたり、体の動きを高めたりするために自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えることができる。
学びに向かう力 人間性等	○ 進んで運動遊びに取り組むとともに、順番やきまりを守って、誰とでも仲よく運動遊びに取り組むことができる。 ○ 場の安全に気を付けたり、用具の準備や片付けを友達と行ったことができる。	○ 進んで運動に取り組むとともに、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合ったり、互いの気持ちを尊重し合ったりすることができる。 ○ 場の安全を確かめたり、用具の準備や片付けを友達と一緒に進めたりすることができる。	○ 積極的に運動に取り組むとともに、約束を守り、仲間と助け合ったり、取組のよさを認め合ったりすることができる。 ○ 用具の使い方や周囲の安全に気を配り、場の設定や用具の準備で、任された役割を果たすことができる。

ウ 本単元を通して育てたい子ども像(ゴールイメージ)及び教師の願い

仲間とともに「できるようになる喜び」を感じる愛顔あふれる子ども
仲間との関わりを大切にしながら、進んで基本的な動きを身に付ける運動に親しみ、できる喜びや協力する楽しさを味わう、「愛顔あふれる子ども」を育てたい。

5 本時の指導（6／6）

(1) 目標

- 多様な運動の楽しさに触れ、基本的な動きを身に付けるとともに、それらを組み合わせる運動をすることができるようにする。 (知識及び運動)

(2) 準備物

- 教師 ケンステップ、コーン、ボール、長縄、ストップウォッチ、笛、記録カード、ワークシート
- 子ども タブレット端末

(3) 展開

学習活動	○ 教師の働き掛けと子どもの意識の流れ	<input type="checkbox"/> 指導上の留意点 <input checked="" type="checkbox"/> 苦手な子ども・意欲的でない子どもへの支援・配慮 <input checked="" type="checkbox"/> 評価規準(方法)【観点】
1 準備運動をする。	多様な運動を楽しもう	<input type="checkbox"/> 音楽を活用しながら、活動に前向きに取り組むことができる雰囲気づくりをする。 <input type="checkbox"/> これまでに考えた戦術等も実践させながら、自己やチームの特徴に合った対話や練習ができるように配慮する。 <input checked="" type="checkbox"/> 運動の様子やポイントを視覚的に理解できるように資料を用意する。 <input type="checkbox"/> 運動を多様に楽しむことができるように、審判や応援などの役割を果たす行動を称揚し、全体の意欲化を図る。 <input type="checkbox"/> にこにこ言葉を掲示し、応援やアドバイスが出てきやすい環境づくりを行う。また、積極的に言葉にしている子どもを称揚する。 <input type="checkbox"/> 友達のよいところやよい動きを全体で共有して、今後の運動や生活に対する意欲を高められるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な動きを身に付けるとともに、それらを組み合わせる運動をすることができる。 (動画・様態・カード)【知識・運動】
2 それぞれのパートに分かれて多様な運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスをとりながら移動するぞ。 ・テンポよく走ろう。 ・負けないためにはどうすればいいかな。 ・友達をしっかりと支えるぞ。 	
3 準備をして、作戦を考える。	各チームに分かれて、作戦を立てて練習しよう	
4 スペシャリストに挑戦する。	自分たちの新記録にチャレンジしよう！	
5 活動の振り返りと片付けを行う。	今日の活動を振り返ろう	

(4) 本時の研究の視点

- 前向きに運動に取り組み、「分かる」「できる」喜びや運動のもつ本質的な面白さを味わうことができるか。 【教材とつながる】
- 豊かに仲間と関わり、共に課題を解決しているか。 【仲間とつながる】
- 自分自身の学びの成果や課題に気付いたり、仲間と協力して活動やルールを工夫したりする面白さを味わったりしているか。 【自分とつながる】

(5) 競技「スペシャリスト」の概要

- ・ 全体を3チームに分けて、5つの競技をリレー形式で行う。
- ・ 自分が出場したい種目を事前に決め、各種目の「スペシャリスト」を目指す。
- ・ 難易度の調整のために、基本のルールを変更することができる。ただし、ルールを変更する際は、他のチームに許可をとってからとする。

(6) 本時に行う主な運動と基本のルール

- ① しまわたり
- ・ 5人以内で行う。
 - ・ ケンステップを運んで道を作る子どもと、ジャンプをしてゴールを目指す子どもに分かれる。
 - ・ 10m先に設置したコーンを折り返して戻ってくる。
 - ・ ジャンプする人は、輪の中にしか着地できない。
 - ・ 輪の外に足が着いたら、一つ前からやり直す。
- <難易度調整のための工夫例>
- ・ 人数の増減、ケンステップの数の増減、輪の大きさの変更、片足着地、折り返し距離の調整

- ② 手押し車
- ・ 2人組で行う。
 - ・ 10m先に設置したコーンを折り返して戻ってくる。
 - ・ しんどくなったら、交代することができる。
- <難易度調整のための工夫例>
- ・ 人数の増減、折り返し距離の調整

- ③ ボール運び
- ・ 2人組で行う。
 - ・ 10m先に設置したコーンを折り返して戻ってくる。
 - ・ 移動中は、手のひら以外の部分でボールを落とさないようにする。
 - ・ ボールを落としたりしたら、落としたところからやり直す。
- <難易度調整のための工夫例>
- ・ 人数を増やす、ボールの素材や大きさの変更、折り返し距離の調整

- ④ 長縄
- ・ 5人以上で行う。
 - ・ 全員で連続5回跳べたらクリア
 - ・ 引っかかった場合は、最初からやり直す。
- <難易度調整のための工夫例>
- ・ 通算5回にする、縄跳び中にボールをキャッチする運動を取り入れる

- ⑤ ボール渡しリレー
- ・ 全員参加する。
 - ・ 10m先に設置したコーンを折り返して戻ってくる。
 - ・ 行きは、頭の上をこすようにしてボールを渡す。
 - ・ 帰りは、股の下を通すようにしてボールを渡す。
- <難易度調整のための工夫例>
- ・ ボールの素材や大きさの変更、折り返し距離の調整